

ライフチェック 専用コントロール液 取扱説明書

本品は、自己検査用グルコース測定器「ライフチェック」及び自己検査用グルコースキット「ライフチェックセンサー」専用の、性能チェック用のコントロール液です。

必ずこの取扱説明書、ライフチェックの取扱説明書、ライフチェック及びライフチェックセンサーの添付文書をお読みになってからご使用下さい。また、【使用上の注意】をしっかりと読み下さい。

【はじめに】

本品は、自己検査用グルコース測定器「ライフチェック（以下ライフチェックと標記）」及び自己検査用グルコースキット「ライフチェックセンサー（以下センサーと標記）」が適正に機能しているかどうかを確認する、性能チェックのために使用します。

性能チェックは、血糖値の測定を行うたびにを行う必要はありません。以下の場合に行って下さい。

- ・ライフチェックやセンサーの性能を確認したいとき。
- ・ライフチェックやセンサーが正常に機能していないと感じるとき。
- ・測定値に疑問を感じるとき。（繰り返し測定して、予想した血糖値と異なる数値が表示されたとき。）

【使用上の注意】

- ・本品は、この性能チェック以外にはご使用にならないで下さい。
- ・本品は、ライフチェック及びセンサー専用のコントロール液です。他の測定器及びセンサーにはご使用にならないで下さい。
- ・本品をご使用になるときは、この取扱説明書をよくお読みの上、チェックの方法・条件を守って下さい。間違った方法・条件でチェックを行うと、性能チェックの結果が正しく表示されない場合があります。
- ・本品には使用期限が記載されています。使用期限を過ぎた本品や、開封後3ヵ月が過ぎた本品は使用しないで下さい。また、開封時には容器に開封日を記入して下さい。
- ・本品は、直射日光を避けて、乳幼児及び小児の手の届かない所に保管して下さい。
- ・本品を飲んだり、目に入れたり、注射したりしないで下さい。誤って口や目に入った場合は、直

ちに十分な水で洗い流す等の応急処置を行い、医師の手当てを受けて下さい。

- ・本品は、使用前に必ずよく振ってからご使用下さい。
 - ・本品を使った性能チェックは、必ずライフチェックを「性能チェック」に設定してから行って下さい。「性能チェック」に設定せずに性能チェックを行うと、性能チェックの結果が正しく表示されない場合があります。また、チェックの結果が血糖値の測定結果として記録されます。
 - ・濃度の変化を防ぐために、本品の使用後は、容器の先端を清潔なティッシュペーパー等で拭き、必ず容器のフタをしっかりと閉めて保管して下さい。
 - ・本品の吸引は、ライフチェックのセンサー差込口側を上に向けて行った状態で行ったり、本品をセンサーの上に直接滴下しないで下さい。ライフチェック内に本品が流入し、故障の原因となります。
 - ・本品はアルミホイルに滴下後、すみやかにライフチェックセンサーへ吸引して下さい。滴下後放置すると、滴下した本品の水分が蒸発し、性能チェックの結果が、期待値から外れるおそれがあります。
 - ・通常の血糖値測定とのデータ混同を避けるため、本品の性能チェック結果は記録されません。性能チェックの結果は、必要に応じて手帳等へ書き留めて下さい。
- ※ 性能チェック結果が、本品の容器に記載されている期待値の範囲外、あるいは「20mg/dL 未満です」「900mg/dL より高いです」が表示されたときは、もう一度性能チェックを行って下さい。再び同じ結果になったときは、この取扱説明書の末尾に記載されている「問い合わせ先」にご連絡下さい。

【内容】

- ・コントロール液 4mL 1本
- ・取扱説明書（本書）

【条件】

性能チェックは、必ず 15～25℃の温度範囲で行って下さい。

性能チェックを行う前に、本品及び、ライフチェック、センサーを、この温度範囲に充分になじませてください。

【使用方法】

※ 詳しい使用方法是、ライフチェックの取扱説明書の「コントロール液を使った性能チェック」をご参照下さい。

1. 性能チェックの準備をします。

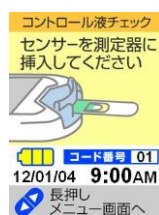
性能チェックのために、以下のものをご準備下さい。

- ・コントロール液(本品)
- ・ライフチェック
- ・センサー
- ・アルミホイル(コントロール液を滴下します。)
- ・手帳(必要に応じてご準備下さい。)

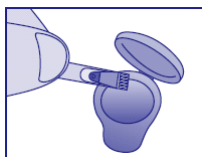
2. ライフチェックを設定します。

ライフチェックの電源を入れ、選択ボタンを長押しして、メニュー画面を表示します。

「性能チェック」を選択し、ライフチェックを「性能チェック」に設定します。



3. センサーを1枚取り出し、ライフチェックに挿入します。



4. センサーの容器とライフチェックの画面に、それぞれ表示されているコード番号が、一致していることを確認し、装着したセンサーを下側に折り曲げます。

5. 本品をよく振り、準備したアルミホイルの上に、本品を1滴落とします。



6. センサーの先端を落とした本品に接触させ吸引します。約5秒後に測定結果が表示されます。その測定結果を記録します。



【結果の判定法】

期待値が本品の容器に記載されています。測定結果がその期待値の範囲内であればライフチェック、センサーとも正常です。

測定結果が期待値の範囲に入らない時は、ライフチェックまたは、センサーに異常があると考えられます。以下の点を確認し、再度測定して下さい。

- ・本品またはセンサーは使用期限内か。
- ・本品のキャップを外したまま、長時間放置していなかったか。また、正しく保管されていたか。
- ・センサーを容器から出した後、すぐに使用したか。また、正しく保管されていたか。

- ・ライフチェックは「性能チェック」に設定しているか。
- ・本品及びライフチェック、センサーは15～25℃の温度範囲で充分になじませたか。
- ・本品をアルミホイルに滴下後、すみやかにライフチェックセンサーへ吸引させたか。
- ・センサーの容器とライフチェックの画面に、それぞれ表示されているコード番号が一致しているか。
- ・使用方法に従い、正しく操作したか。

再度測定をしても、その結果が期待値の範囲に入らない場合は、販売元にお問い合わせ下さい。

【貯蔵方法、有効期間】

貯蔵方法：気密容器による室温(1～30℃)保存

有効期間：12ヵ月

使用期限は本品及び包装箱に記載しております。

容器キャップ開封後の本品は、3ヵ月以内に使用して下さい。

(容器キャップ開封後3ヵ月以内であっても、使用期限を過ぎた本品は使用しないで下さい。)

【問い合わせ先】

エーディア株式会社

カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル



0120-498-352

【製造業者、販売業者】

販売元：  エーディア株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-6

<http://www.eidia.co.jp>

製造元：  グンゼ株式会社

〒623-8513 京都府綾部市青野町橐ヶ市46

<http://www.gunze.co.jp>

2012年01月 第1版発行

2012年04月 第2版発行

取扱説明書の内容は予告なく改訂される場合があります。